

「福岡県 MaaS 事業に係る調査研究業務」提案書評価項目表

提案書の記載項目	記載事項	評価項目・基準	点数
1 業務の方針	○ 業務の目的及び目指す効果	○ 本業務の内容や、背景、課題を理解し、業務の目的達成に効果的な提案となっているか。	5
2 福岡県 MaaS 事業に係る調査研究業務			
(1)事業評価	○ 事業評価の内容・手法	○ 事業評価のための実施内容・手法は、業務目的の達成のために十分であり、かつ専門的知見や独自のノウハウに基づくものとなっているか。	10
	○ 現状把握の内容・手法	○ 事業の現状把握のための実施内容・手法は、業務目的の達成に十分であり、かつ専門的知見や独自のノウハウに基づくものとなっているか。	10
		○ 他自治体の好事例の調査・整理の実施内容・手法は、業務目的の達成のために十分であるか。	
	○ 上記実施項目で得られた結果を踏まえた検討・提案の有効性	○ (1)(2)で得られた結果を踏まえて行う検討・提案の実施内容・手法は、今後の事業展開に向けて有効な内容となっているか。	20
		○ これまでの県 MaaS 事業によって得られた知見やノウハウの整理・体系化の手法は、市町村による主体的な MaaS 事業の展開に資する上で有効なものとなっているか。	
(4)「データ利活用事業」におけるデータ取得・共有・活用に係る考え方の整理	○ データ取得・共有・活用に係る課題の分析・整理の内容・手法	○ (1)(2)で得られた結果を踏まえて行う検討・提案の実施内容・手法は、今後の事業展開に向けて有効な内容となっているか。	15
		○ これまでの県 MaaS 事業によって得られた知見やノウハウの整理・体系化の手法は、市町村による主体的な MaaS 事業の展開に資する上で有効なものとなっているか。	
		○ 今後の県 MaaS 事業の方向性に係る検討・提案を行うにあたり、専門的な知見や独自のノウハウを有しているか。	
(5)アドバイザー業務	○ 助言の有効性	○ 県の求めに応じて、専門的知見や独自のノウハウに基づく助言ができる体制となっているか。	15
4 業務執行体制			
(1)業務執行体制	○ 本業務を確実に実施するための業務の執行体制	○ 業務にあたる配置予定の人員数が十分に確保され、業務実績や経験、資格等も十分であるか。 ○ 業務進捗管理や発注者との協議・情報共有等が円滑に行える体制が確保されているか。	5
(2)業務執行スケジュール	○ 本業務の実施スケジュール	○ 業務実施手順や工程の計画が具体的に示されているか。 ○ 計画的で無理のないスケジュールとなっているか。	5
5 過去の業務実績	○ 過去に受注し完了した類似業務の実施年度、業務名、業務内容(簡潔に)、発注者、契約額(千円単位、税込額)	○ 過去の業務経験に基づく知識や独自のノウハウの活用が期待できる業務実績を有しているか。	10
6 本業務の目的に応じたその他の提案	○ 仕様書で指定した業務内容以外で実施可能な事項	○ 成果をより上げることが期待できる専門的な知見や独自のノウハウに基づく提案がなされているか。	5
合 計			100